

5.9 I地域(北会津地区)

(1)地域の現状と課題

①日常生活の利便性及び居住環境向上

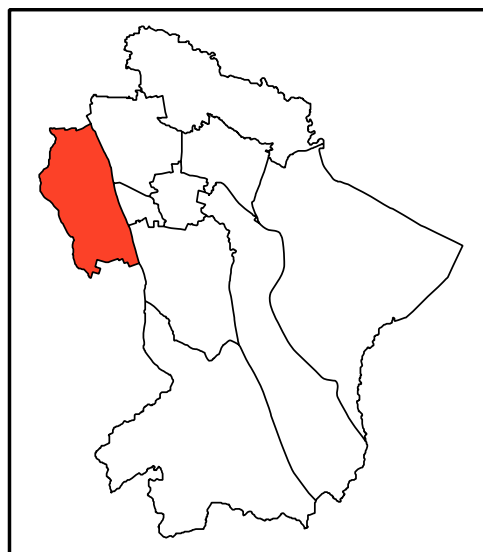
I 地域は、阿賀川の西側に位置し、農地と集落が調和した田園風景が広がる地域です。

北会津支所周辺に公民館やホテルの森公園などの公共施設等が集積し、地域の中心となっています。

集落が点在し、集落ごとに寺社があり、農地、集落とともに田園風景を構成する重要な要素となっています。

しかし、買い物などは、中心市街地や会津若松 IC 周辺の商業地が主体となっており、日常生活の利便性の向上が求められています。

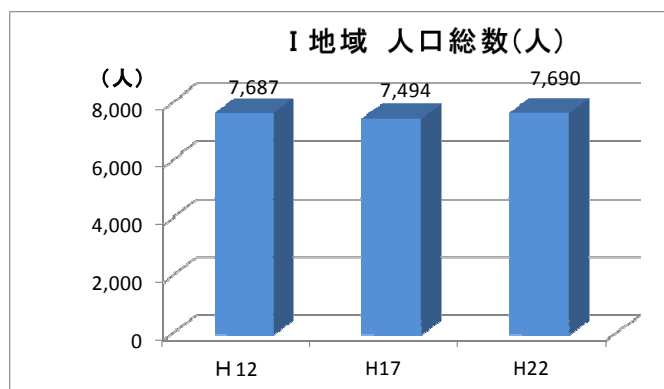
また、集落における下水道への接続率が低く、居住環境の改善が求められています。



②田園風景の保全

広大な農地の中に集落が点在する田園風景は、地域の原風景となっています。

農業後継者問題等農業を取り巻く環境の変化から、耕作放棄地等が見られるようになっていきます。地域をイメージする田園風景を次世代に引き継いでいくため、適切な管理方策等により美しい田園風景の保全を図ることが求められています。



出典：国勢調査

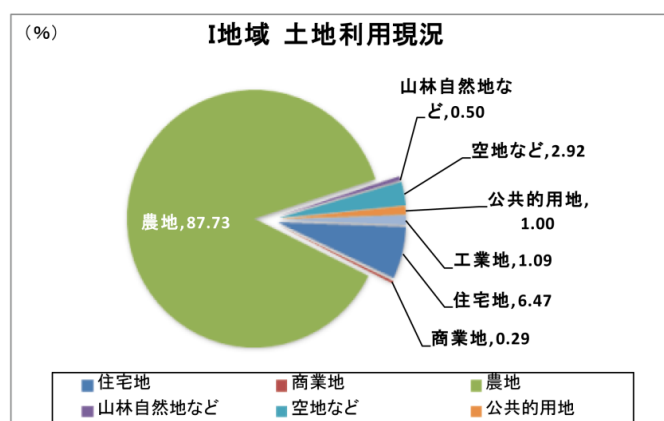
③中心市街地への道路・交通環境の改善

中心市街地とは、国道 401 号、県道橋本会津高田線、会津若松三島線により結ばれています。

また、地域内には、会津本郷駅がありますが、地域の南側にあるため、中心市街地へは、自動車利用が主体となっています。

しかし、阿賀川に架かる橋梁がボトルネックとなり、中心市街地に向かう道路は混雑する状況にあります。

そのため、中心市街地へのアクセス道路の強化を図るとともに、巡回バス等の利便性向上が求められています。



出典：都市計画基礎調査

(2)地区別懇談会での意見

I 地域は「北会津地区」から構成され、地区別懇談会では以下のご意見・ご提案をいただきました。

地区名	主な意見
北会津地区	○会津若松を代表する豊かな田園風景と農業資源を持つ。 ○地域の観光資源を活用するとともに、玄関口となる会津本郷駅周辺整備を推進する。 ○市街地のアクセス向上を図るため、阿賀川に係る橋梁の整備を早期に実施する。 ○広幅員の道路を整備し、回遊性を高める。 ○ピカリン号の利用者ニーズに合わせたルートを利用者から提案してもらい、利用増加を図り存続させる。 ○通学路への防雪柵、防犯灯等の設置を進める。 ○産業を誘致し活性化を図る。

(3)地域の将来像

地域の現状と課題、いただいたご意見から、I 地域のまちづくりを考える上での「キーワード」として以下のものがあげられます。

これらのキーワードを踏まえ、I 地域は美しい田園風景の中で農産物をはじめとする豊かな地域資源を活かしながら、地域の活力を向上するまちを目指すこととし、地域の将来像を以下のとおり設定します。

【キーワード】

○豊かな田園風景の保全	○居住環境の充実	○道路環境の整備
○地域活力の向上	○中心市街地へのアクセス	○ピカリン号

【地域の将来像】

**農業と集落が調和する田園風景の中で、
地域の資源を活かし、都市部との交流を促進するまちをつくる**

(4)まちづくりの目標

①美しい田園風景を保全する

地域一帯に広がる農地は保全を基本として、住宅地や工業地などの都市的土地利用とのバランスの取れた美しいまちを次世代に継承していきます。

②安心して、住み続けられる居住環境を形成する

生活の利便性を高め、安心して住み続けられるまちづくりを推進します。

③地域資源を活かした活力の向上を促進する

地域が誇る田園風景や地域全体で取り組まれているホタルの里などの資源を活用し、人々の交流を促進し、地域活力の維持・向上を図ります。

④中心市街地とのアクセスを強化する

中心市街地への道路整備等を推進し、中心市街地へのアクセス強化を図るとともに、公共交通の利便性向上を図ります。

(5)地域別方針

1)都市機能の方針

- 地域のコミュニティ拠点として、公民館等の機能の充実を図り、地域住民のコミュニティ活動や交流を促進するとともに、地区の拠点となるシビックゾーン（公共公益施設の集積）の形成を推進します。また、既存の地域医療拠点の機能の維持・充実を図ります。
- 農業のブランド化やグリーンツーリズムなどによる観光農業、付加価値の高い地場産業の育成を支援し、地域産業の活力を高める取り組みを推進します。
- 巡回バス「ピカリン号」の利便性向上など、利用しやすい公共交通について、地域ぐるみで育てる取り組みを推進します。

2)土地利用の方針

- 地域内の住宅地や集落地は、低層建物を主体として、緑化の推進など、農地との調和を図りながら、住み続けたいと思える良好な住環境を形成します。また、良好な田園・集落景観の保全を図ります。
- 真宮工業団地のほか、上米塚地区において、良好な自然環境との調和に配慮しながら、隣接する既存工業との連携を図る土地利用を推進します。
- 農村集落地は、田園風景との調和を継続していくとともに、集落としての活力を将来的にも維持していくための土地利用を推進します。

3)都市施設の方針

- 阿賀川に架かる橋梁は交通の混雑解消と市街地との交流や連携を強化するため、市全体の道路ネットワークと整合した道路整備を推進し、中心市街地とのアクセスの強化を図ります。
- 地域内交通の安全性と快適性を確保するため、歩行者と自動車分離する、人に優しい道路づくりを推進します。
- 道路などの都市施設の整備にあたっては、バリアフリーを基本として整備を推進します。
- 余暇やレクリエーション、健康増進を図るため、歩行者道や阿賀川沿いの自転車道の整備を検討します。
- 公共下水道の利用の促進や、農業集落排水施設の接続率の向上、浄化槽の設置を推進し、生活環境の向上と自然環境への負荷の軽減を図ります。
- 観光農業をはじめ、地域内に点在する自然・歴史資源などを巡る回遊ルートを形成し、地域内外の人々の交流を推進します。
- 既存の消融雪施設を有効に活用するとともに、地域との連携のもと、除雪の充実を図りながら、冬期間における安全な生活環境を推進します。

4)都市環境の方針

- 快適で安全な生活環境を保全するため、生活道路の整備や、住民をはじめ地域ぐるみによる防犯灯の設置などを進め、夜間でも安心して暮らせる地域づくりを推進します。
- 阿賀川など地域内を流れる河川は、自然の保全を図りながら、水害に対する安全性を高めるとともに、河川敷の活用など、多自然川づくりを推進します。
- 自然環境との調和を図りながら、優良な農地の保全を支援していく体制づくりを推進します。

5)都市防災の方針

- 公共施設や学校、公園などを防災施設として活用するとともに、避難路の安全対策を図りながら、災害に強いまちづくりを推進します。
- 住宅地、集落における防災性の向上を図るため、木造住宅の耐震診断の促進を図るとともに、狭小道路等の解消を推進しながら、新耐震基準以前に建てられた建築物を中心に耐震化を促進していきます。

■I地域(北会津地区)整備方針図

